



もろきた通信

佐賀市立諸富北小学校
学校だより No.13
令和7年1月8日(水)
校長 石田 亮子

学校教育目標 < 夢をもち ふるさとを大切に思う児童の育成 >

夢に向かって大きくなろう！

新しい年となりました。子どもたちは新たな気持ちをもって新年を迎えたことと思います。その新鮮な気持ちで、自分の未来を思い描き、誓いを立てたり、これまでの積み上げや頑張ったことを振り返ったりして、自信を持ってスタートを切ってほしいと願っています。

さて、今年の干支は「巳」です。「巳」という字は、胎児の形を表す象形文字で、「蛇」が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる」などの意味があります。また、中国の「漢書 律曆志」では、草木の成長が極限に達した状態を表しているとされています。「蛇」は脱皮を繰り返し大きくなっていくことから成長も意味します。

始業式では、今年の干支「巳年」にまつわる話をしました。「巳」が表す「蛇」は、「知恵（考える力）の象徴」「成長・再生の象徴」「幸運・保護（人を幸せにする）の象徴」であることから、「自分でしっかり考え、まわりの人を幸せ（笑顔）にしながらか夢に向かって成長していきましょう。」と伝えました。

150年という長い歴史と深い伝統がある諸富北小学校の子どもたちが、その伝統を大切に、未来に向かって著しく成長していくように、全職員で教育活動に取り組んでまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。



春まで咲き続けるよ

今年も良い本と出会しましょう

毎月行っている全校昼会において、多読賞（図書の本をたくさん読んだ人）の表彰を行っています。「にじいろ50選」と言って、各学年で読んでほしい本を50冊選んでいます。まずこの50冊を達成しようというのが大きな目標です。2学期までに、105人の子どもたちが達成しています。

毎月1回の「ぽかぽか読書」と「週末読書」も活用して、子どもたちに良い読書習慣を付けてほしいと思っています。特に「ぽかぽか読書」は、保護者の方も一緒に読んでいただく時間となっています。ご協力をお願いします。月曜日には、「週末読書」の感想を、お昼の放送で紹介しています。感想を聞いた子どもたちが「読んでみたい！」と思い、借りて読む、という読書の連鎖が続いていくことを期待しています。

「おおぞら水族館」開催！

2学期末に、おおぞら学級の子どもたちが空き教室に水族館を作りました。日頃から作ったり描いたりしている魚などを展示して、昼休みにお客さんを招きました。自分がかもつ力を発揮できる場となりました。



感謝の気持ちを込めて・・・